

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小2	国語	聞く・話す「ことばでみちあんない」 光村図書（R7）	オクリンクプラス
授業 内容	相手に伝わるように、話す順序を考えて、ことばでみちあんないをしよう		カード内の地図
	準備： - 共有コードを使用してカードを取得する。 - 準備したカードのうち「やってみよう！話す」と「まとめてみよう！聞く」のカードを子供たちのマイボードに送信する。 授業の流れ： - 先生は「例題」カードを子供たちに見せず、「例題」カードに記載された待ち合わせ場所のベンチまでの道案内を読み上げる（待ち合わせ場所のベンチは地図内の「あ」のベンチ）。子供たちは、先生の読み上げる道案内を聞きながら、ノートにメモを取る。 - 読み終わり子供たちのメモができあがったら、全体で「例題カード」の地図を画面に提示する。子供たちは、自分が書いたメモの内容で、地図内の「あ」のベンチにたどり着けるかを確認する。 - 班をつくり、「やってみよう！話す」を見ながら、地図上の「い」～「け」のベンチについて、1人1か所ずつ担当を決める。（担当決めに必要があれば「付録あみだくじカード」を利用） - 各自、「やってみよう！話す」カード上で、割り振られたベンチまでの道順をペンで書き込んだり、人の絵を動かしたりしながら、道案内の説明をノートに書く。 - 全員の道案内の説明ができあがったら、一人ずつノートに書いた道案内を読む。一人が読んでいる間、ほかの人は道案内の内容を聞きながらメモをとる。 - 班全員の道案内が終わったら、誰がどのベンチへの道案内だったのか正解を確認する。その後、道案内のよかった点や改善点を伝え合う。		道案内を「話す」ときと「聞く」ときのカード  共有コード 共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む  pb01KYGNAZ2XEVV4EN9KD8B0JNXD
サポータ おすすめ ポイント	- ペンツールで書きこむ、実際に人の絵を動かすなど、試行錯誤しながら、道順を言語化したり、メモの妥当性を確かめたりする活動ができます。 - ベンチを1人1か所ずつ割り振るためのあみだくじカードもご用意しています。		

「例題」カードの使用手法

見せないカード（先生が読む専用）

先生用出題「あ」のベンチに向かうみちあんない

※このカードは子どもたちに見せない「出題用」のカードです。

先生が、「ことば」でみちあんないをします。
みんなは、ノートにメモをしましょう。

まちあわせのばしよは、
（トイレのちかく）のベンチです。
これから、行き方を話します。

公園の入り口から入って、
（まっすぐ）にすすみます。
（うんてい）をすぎたら、
トイレの（まえ）に
ベンチがあります。
そのベンチでまっています。



1. 先生は、左の「出題カード」や地図を子供たちに見せずに、「出題カード」の「ことば」を読み上げることで、地図上にある「あ」のベンチの場所について道案内をします。子供たちは、先生の「ことば」を聞いてノートにメモをとります。

最初は地図も見せない



2. メモがまとまったあとで、全体で、提示用の地図を掲示。先生が話した「ことば」をおさらいしながら、自分がとったメモ通りに「あ」のベンチの場所へ行くことができるかを確認します。

提示用

公園の入り口から入って、
（まっすぐ）にすすみます。
（うんてい）をすぎたら、
トイレの（まえ）に
ベンチがあります。
そのベンチでまっています。

まちあわせのばしよは、
（トイレのちかく）のベンチです。
これから、行き方を話します。



提示用

公園の入り口から入って、
（まっすぐ）にすすみます。
（うんてい）をすぎたら、
トイレの（まえ）に
ベンチがあります。
そのベンチでまっています。

「例題」カードの（ことば）の地図があるカードにも道案内の文章を記載していますが、大切な部分を「ことば」というテキストで隠しています。「ことば」のテキストは動かすことが可能です。削除する、他の場所へ移動させる、などで必要に応じて下にある「ことば」を表示ください。

イラスト出典：いらすとや
<https://www.irasutoya.com/>

人は動かしたり、
回転させたり
することができます。



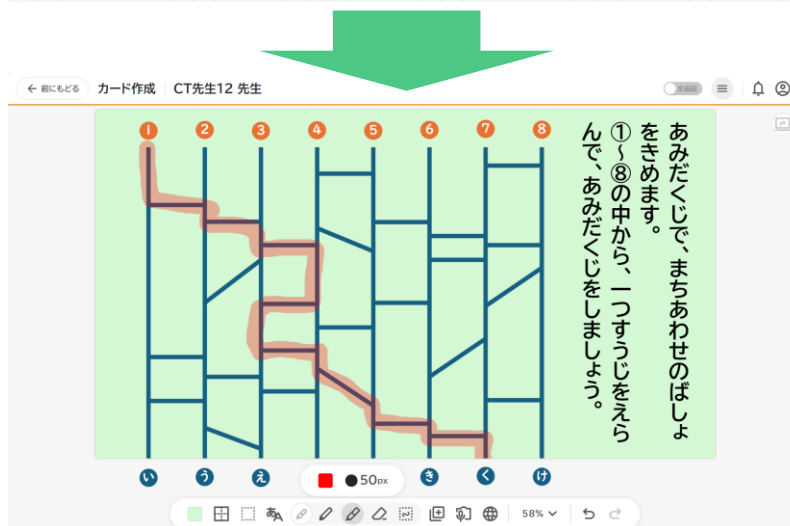
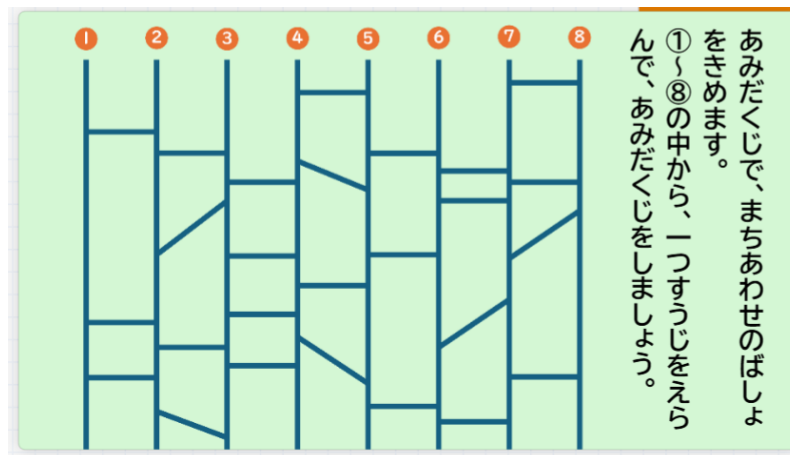
(付録) 選べる2種類のあみだくじカードの使用方法 * 使用は任意

担当するベンチの分担決めにあみだくじカードをご活用ください。

2種類ご用意しています。いずれかのカードを先生が選び、子供たちのマイボードに送って使用することができます。

楽しみながら、あみだくじをする

先に番号を選び、カードを開いてペンでなぞりながら、あみだくじをして「い」～「け」につなげる。



結果だけ確認して時間短縮する

先に番号を選び、カードを開いたら、「い」～「け」の下に、つながる番号がすでに表示してある。

